

2月10日（火）

きょうは、デザートの「いよかん」のお話をします。

「いよかん」は、今から約140年前の明治19年に、山口県の果樹園で偶然発見された品種で、当時は穴門みかんと呼ばれていました。偶然発見されたため、詳しくは分かっていませんが、みかんとおレンジがかけ合わさった品種ではないかと言われています。その後、愛媛県の人が原木を買って、愛媛県で栽培されるようになり、愛媛県の昔の地名が伊予と呼ばれていたことから、伊予のみかんで「伊予柑」と呼ばれるようになりました。みかんや伊予柑などは、ビタミンCがたっぷりで、カゼなどの病気の予防になりますので、しっかり残さずに食べて、もう少し続く、寒い季節を元気に乗り切りましょう。